
は し が き

夏休みや入試の直前に、短期間で英文法の重要事項をまとめておきたいと考える人は多いでしょう。今まで勉強してきた事柄が、断片的で、おぼろげで、何となく不安だと思うのは、恐らくだれもみな同じではないでしょうか。

本書は、そういう人たちのために、英文法の要点を10日間で整理・確認できるように編集しました。次の「本書の活用の仕方」を参考にチェックしていけば、文法に自信がついていきます。

【本書の活用の仕方】

- (a) まず練習問題を一度解いてみる。
- (b) 解答に自信のある人は解答書で確認し、間違っていたら本冊の「解説」を参照して修正する。
- (c) 解答に自信のない人は「解説」を参照して正解を導き、解答書で確認する。
- (d) さらに時間の余裕があるときは「発展解説」を読んで応用力をつけよう。

目 次

第1日	時制・動詞の要点	2
第2日	不定詞の要点	5
第3日	分詞・動名詞の要点	8
第4日	態の理解	11
第5日	関係詞の要点	14
第6日	比較の理解	17
第7日	仮定法の理解	20
第8日	話法の理解	23
第9日	前置詞・接続詞の要点	26
第10日	否定・倒置の要点	29

第 1 日 時制・動詞の要点

問題 A [] 内の正しいものを選びなさい。

1. He usually [① has got ② gets ③ is getting] up at six in the morning.
(彼はふつう朝 6 時に起きます。)
2. The athletic meeting will not be held if it [① rains ② will rain ③ rained] tomorrow.
(あす雨が降ったら運動会はありません。)
3. I [① finish ② have finished ③ will finish] my homework, so I am free now.
(宿題を終えてしまい、今はひまです。)
4. I [① climb ② am climbing ③ have climbed] the mountain three times.
(私はその山に 3 回登ったことがあります。)
5. They [① quarrel ② have quarreled ③ have been quarreling] with each other for thirty minutes.
(かれらは 30 分もずっと口げんかをしている。)
6. The train [① left ② has left ③ had left] when I got to the station.
(私が駅に着いた時には汽車はすでに出てしまっていた。)
7. If I climb the mountain this time, I will [① climb ② have climbed ③ be climbing] it three times.
(こんどその山に登ったら 3 回登ったことになる。)
8. As she had a touch of cold that night, she [① lied ② laid ③ lay] down on bed earlier than usual.
(その日は風邪ぎみだったので、彼女はいつもより早めに床についた。)
9. We'll [① discuss about ② discuss on ③ discuss] the problem at the end of the general meeting.
(総会の最後にその問題について議論することにします。)
10. It never [① occur ② occured ③ occurred] to him that he was to blame for the accident.
(自分にその事故の責任があるとは、彼は思いもよらなかった。)

解説

- 1. 現在の「習慣」は単に現在形でよい。
- 2. 時や条件の副詞節の中では、未来のことでも現在形を用いる。名詞節なら未来のことは未来形にする。(つまり助動詞の will を用いる。)
[例] I don't know if it *will rain* tomorrow.
(あす雨が降るかどうか知りません。)
if 以下は know の目的になっている名詞節。
- 3. 今終わったこと(完了)は、現在完了形を用いる。
- 4. 過去から今までの経験は現在完了形を用いる。
- 5. 過去から今までの継続は現在完了進行形 (have been ~ing) を用いる。
- 6. 過去以前から過去までの完了、経験、継続は過去完了形を用いる。(継続は動作を表す動詞には「過去完了進行形 (had been ~ing)」を用いる。)
- 7. 未来のある時までの完了、経験、継続は未来完了形 (will have + 過去分詞) を用いる。
- 8. lie (横たわる) (自動詞) の活用 lie — lay — lain
lay (横にする) (他動詞) の活用 lay — laid — laid
- 9. discuss は「~について議論する」の意味だが、他動詞である。
- 10. occur (起こる、心に浮かぶ) は規則動詞であるが、[ə'kɔːr] と発音し、後の音節にアクセントがある。母音 + r で終わる語は、母音にアクセントがある時、過去・過去分詞は r を重ねて ed をつける。

問題 B 各組の文のうち、間違っているのはどれか指摘しなさい。

1. a) I have finished my assignment just now.
b) I finished my assignment just now.
(ちょうど課題を終えたところです。)
2. a) I have been knowing him since he was a little child.
b) I have known him since he was a little child.
(彼が小さな子供のときから彼を知っています。)
3. a) Have you ever been to France?
b) Have you ever gone to France?
(フランスへ行ったことがありますか。)
4. a) He lost the watch he bought the day before.

b) He lost the watch he had bought the day before.

(彼は前の日に買った時計をなくしてしまった。)

5. a) I will return the novel to the library when I have finished reading it.

b) I will return the novel to the library when I will have finished reading it.

(その小説を読み終えたら図書館に返します。)

解説

- 1. just now は過去の表現とみなし、過去形と用いる。
- 2. 継続や状態を表す動詞 (know, love, remember, belong, resemble, be など) は進行形にできない。
- 3. 「～へ行ったことがある」は have been to ～
have gone to ～ は「～へ行ってしまった」の意になる。
[例] He has been to Italy. (彼はイタリアへ行ったことがある。)
He has gone to Italy. (彼はイタリアへ行ってしまった。)
- 4. 過去より以前のことは過去完了で表す。
- 5. 時や条件の副詞節の中では、未来完了の代わりに現在完了を用いる。つまり、時や条件の副詞節の中では will を用いない。

問題 C 空所に適語を入れなさい。

1. Have you eaten supper []?

(もう夕食は終わりましたか。)

2. It has been ten years [] we got married.

(私たちが結婚してから10年になります。)

3. I was [] to leave the house when the phone rang.

(家を出ようとしていたら電話が鳴った。)

解説

- 1. yet は、(疑問文で) もう / (否定文で) まだ
- 2. since 「～以来、～してから」
- 3. be about to ～ 「まさに～せんとしている」

第 2 日 不定詞の要点

問題 A [] 内の正しいものを選びなさい。

1. It is necessary [① for ② of ③ at] us to finish the work at once.
(すぐにその仕事を終わることが必要だ。)
2. It is kind [① for ② of ③ at] you to say so.
(そう言ってくださってありがとうございます。)
3. She asked me [① not to ② to not ③ don't] tell the secret to anyone.
(彼女は私にその秘密を誰にも言わないでほしいと頼んだ。)
4. Mary had no friends [① to talk ② to talk with ③ talking].
(メアリーには話のできる友達がいなかった。)
5. To [① say ② tell ③ mention] the truth, I don't know anything about that matter.
(実を言うと、そのことについては何も知らないのです。)
6. I want [① he ② for him ③ him] to get the first prize in the speech contest.
(スピーチコンテストで彼に一等をとってほしいと思っている。)

解説

- 1. 不定詞の意味上の主語は for を用いる。
- 2. It is kind of ... to ～ のように人の性質を表す形容詞 (kind, good, cruel, foolish) を用いた表現は of を用いる。
- 3. 不定詞の打消しは to ～ の前に not をつける。だから、not to ～ という形になる。
- 4. 名詞+不定詞(形容詞用法)で、修飾される名詞が不定詞の目的語でない場合には、不定詞のあとに前置詞が必要である。
[参照] He has no house in which he can live.
= He has no house he can live in.
= He has no house to live in.
(彼には住む家がない。)
- 5. to tell the truth 「実を言うと」
- 6. want [ask, tell など] +目的語+ to ～ の構文として用いる。